

# 宗教哲学会 第9回学術大会

平成29年3月25日(土)  
京都大学 文学部新館2階

研究発表 9時30分～11時55分

第1部会(第4講義室)

1. 初期ハイデガーの「現象学」解釈  
—「フッサール」と「キリスト教的なもの」との間での「哲学」理念の再解釈  
樽田勇樹(京都大学)
2. フランス・スピリチュアリズムにおける合目的性とその自覚の諸相  
山内翔太(京都大学)
3. 清沢満之における信仰の獲得  
— 中期の宗教哲学的諸論考を手がかりとして  
長谷川琢哉(親鸞仏教センター)

第2部会(第6講義室)

1. ショーペンハウアーの愛の道德についての試論  
— Person の用例を手掛かりとして  
鳥越覚生(京都大学)
2. キルケゴールと世俗化  
須藤孝也(大谷大学)

シンポジウム 13時30分～17時 (第7講義室)  
「脳神経科学と宗教の未来」

1. 超越的次元のゆくえ  
— 宗教経験の脳神経科学をふまえて  
冲永宜司(帝京大学)
2. 宗教研究は脳科学や認知科学の展開にどう向かいあうか  
井上順孝(國學院大學)

司会：芦名定道(京都大学)

\* 会員以外の方も、参加料500円でご参加いただけます。